

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年11月9日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2. (2) 11月13日火曜日でございますが、第651回の審査会合の開催が予定されております。この日の審査の対象といたしましては、工認あるいは保安規定に関する個別の案件が5件ほど予定されてございます。

具体的に申し上げますと、まず1件目といたしまして、関西電力・大飯発電所3号機、4号機の工事計画認可に関しまして、こちらは接続先の送電線の変更に伴う申請についての審査を行う予定でございます。

次に、2件目といたしまして、同じく大飯3号機、4号機の工認でございますが、こちらは計測・制御設備の交換に伴う申請についての審査、こちらが予定されております。

次に、3件目といたしまして、美浜発電所3号機の保安規定につきまして、中央制御盤の交換に伴う変更についての審査を行う予定でございます。

次に、4件目といたしまして、こちらは関西電力、四国電力、九州電力合同ということになりますが、HEAF（高エネルギーアーク損傷）に関する規制の強化を受けた工事計画の認可についての申請、こちらについての初回の審査を予定しております。初回ということで、概要説明をお聞きする予定でございます。

次に、5件目といたしまして、こちらは今申し上げた3社、関西電力、四国電力、九州電力になりますが、火山灰対策に係ります保安規定についての審査を予定してございます。こちらは昨日の審査会合での議論を踏まえまして、議論の整理・確認が行われる見込みでございます。

次に、広報日程の2ページ目、11月15日木曜日、(5) 第246回の核燃料施設等に係る審査会合の開催が予定されております。議題は、記載のとおり、日本原電の廃棄物埋設施設の事業許可申請に係る審査が行われる予定でございます。内容といたしましては、これまでの審査を受けたコメント回答、また、廃棄施設や予備電源などの設備についての審査が行われる予定でございます。

次に、その下、11月16日金曜日、(6) 第247回の核燃料施設等に係る審査会合が予定

されております。こちらの議題は、記載のと通りの2件の予定でございます。

まず、議題1として、JAEAの試験研究用等原子炉施設（HTTR）についての審査ということでございます。こちらは10月に補正が提出されているということでございまして、それについての確認が行われる見込みでございます。

次に、議題の2番目といたしまして、JAEAの試験研究用等原子炉施設の審査ということで、こちらは既に許可を受けております施設、JRR-3、NSRR、そして、STACY、これらにつきましての後段規制、具体的には設工認、保安規定でございますが、この後段規制についての申請状況などの確認が行われる予定でございます。

次に、その下、3.、委員の現地調査の予定が、既にお知らせをしておりますが、2件新しく入っております。

(1) でございますが、電源開発株式会社・大間原子力発電所の新規制基準適合性審査に係る現地調査、こちらを11月15日、16日の2日間にわたりまして、石渡委員ほかが現地調査に行く予定でございます。こちらの調査では、発電所敷地内のトレンチ、調査孔、ボーリングコアといったもの、また、敷地周辺の露頭や地形などを調査しまして、地質・地質構造について確認を行う予定でございます。

次に、その下、(2) 中国電力株式会社・島根原子力発電所の2号機の現地調査を、11月15日、16日の2日間にわたりまして、こちらは山中委員ほか調査を行う予定でございます。こちらは新規制基準への適合性審査の一環ということで、2号機についての様々な施設・設備についての調査を行うほか、1号機、3号機についても併せて視察を行うという予定となっております。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—